

関東大震災朝鮮人・中国人虐殺犠牲者 102 年追悼祈祷会

リタニー ◇先導者 ○会衆 交互に読みます。

◇私たちは今日、102 年前に関東地方を襲い、10 万人以上の人々の命を奪った関東大震災を思い起こします。その犠牲者の中には、震災による犠牲とは異なり、日本の朝鮮に対する植民地支配の中で生まれた差別と偏見の結果、虐殺された数千人に及ぶ朝鮮人、また 700 人を超える中国人の犠牲者がいました。そのことを覚え、わたしたちはこの追悼祈祷会に集いました。

○ 主よ、私たちは今、あなたの十字架の前に立ち、あの 102 年前の悲劇を思い起こします。

◇「あのジェノサイドの真相を究明する」と、1923 年 12 月に国会において総理大臣が約束したにもかかわらず、102 年が過ぎた今に至るまで、政府は「虐殺の事実は確認できない」と真相究明と国家責任から逃避し続けてきました。そのような政治を今に至るまで許してしまった民衆責任をおぼえ、私たちはあなたのみ前で懺悔いたします。

○ 主よ、政治家のみならず、社会全体が政治の無責任を許してしまった過ちをおゆるしてください。

◇私たちは 102 年前と同じ過ちが繰り返されている事に、恐れと怒りを禁じ得ません。今年 7 月に行われた参議院選では、排外主義の言論が横行しました。日本国籍を持つ者の感じる生きづらさが、あたかも日本にいる外国人のせいであるかのようなデマが拡散され、与野党そろってその対策を叫び始めました。多くの有権者が排外主義に乗っかってしまいました。かつてデマによって起きた弾圧・排除とおなじことが、再び起きたのです。

○ 主よ、排外主義の横行を止(と)めさせてください。私たちがすべての者と共に生きる道を示してください。私たちに知恵を与えてください。

◇主よ、あのときのジェノサイドを見つめていたあなたは、いま、この現実をどのように見つめておられるのでしょうか。当時のキリスト教会があなたに従った行動をすることができず、口を閉ざし、沈黙していたことを深く悔い改めます。私たちは、こんにちのこの流れに抗しつつ、過去と現在、そして未来に向き合うことを決意します。

○ 主よ、あの時のように、私たちの教会が沈黙してしまうことがないように立ち上がらせてください。私たちに勇気を与えてください。

◇主よ、歴史の中を生きるあなたの前で、この時間、あなたのみ言葉を聞くときとさせてください。あのジェノサイドの歴史を思い起こし、記憶を新たにし、その歴史がわたしたちに今問いかけている意味について思いを馳せる時間としてください。

○ 主イエス・キリストのみ名によって祈ります、アーメン。